



平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月14日

上場会社名 野村マイクロ・サイエンス株式会社

上場取引所 東

コード番号 6254 URL <http://www.nomura-nms.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼最高執行責任者 (氏名) 八巻 由孝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長兼最高財務責任者 (氏名) 横川 収

TEL 046-228-5195

四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	11,465	58.1	388	236.3	477	282.7	341	322.9
30年3月期第2四半期	7,250	24.2	115		124		80	

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 364百万円 (100.9%) 30年3月期第2四半期 181百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	37.43	37.33
30年3月期第2四半期	8.93	8.88

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	20,350	8,970	44.1	983.66
30年3月期	22,096	8,785	39.7	963.71

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 8,966百万円 30年3月期 8,769百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		20.00	20.00
31年3月期		0.00			
31年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,071	16.1	1,245	0.3	1,310	15.9	1,070	6.6	117.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、当四半期累計期間において自己株式の処分(新株予約権の行使請求に対応するため自己株式を交付)を行っており、平成31年3月期の「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の処分の影響を考慮して算出しております。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	10,152,000 株	30年3月期	10,152,000 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	1,037,036 株	30年3月期	1,052,035 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	9,109,715 株	30年3月期2Q	9,022,798 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

当社は、平成30年11月19日(月)に機関投資家及びアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この決算説明会で配付する資料については、開催後速やかに当社ホームページに記載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続くなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、中国をはじめとするアジア新興国の経済の先行きや米中間の通商問題の動向が懸念される状況となり、一部先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの業績に影響を及ぼす半導体業界は、Semiconductor Equipment and Materials International (SEMI) が発表した2018年第2四半期の半導体製造装置出荷額によると、中国は前年同期比51%増、韓国は同2%増、日本は同47%増、世界全体では同19%増となり、引き続き好調に推移いたしました。また、液晶ディスプレイ市場では、有機ELパネルの投資が延期等になる一方、中国における大型パネル向けに活発な投資が継続いたしました。

このような状況下、当社グループは海外では半導体・液晶関連企業、国内では製薬・半導体関連企業を中心に積極的な営業活動を展開し、引き続き半導体関連企業の投資意欲が旺盛な韓国、中国市場を中心に受注獲得に努めてまいりました。加えて平成30年8月には、ベトナム社会主義共和国における超純水製造装置の受注活動並びに施工、販売及びメンテナンスを目的として同国内に子会社を設立いたしました。

これらの事業活動により、水処理装置については、国内の製薬・半導体関連企業及び韓国、中国、台湾の半導体・液晶関連企業から受注した水処理装置の工事が進捗したことにより、売上高は76億5千4百万円（前年同期比110.8%増）となりました。また、メンテナンス及び消耗品については、国内及び韓国での受注が堅調に推移いたしました。台湾及びアメリカでの受注が減少したことにより、売上高は30億4千5百万円（同3.5%減）となり、その他の事業については、台湾でのPVDF配管材料の受注が増加したこと等により、売上高は7億6千5百万円（同65.1%増）となりました。

利益面につきましては、増収効果及び営業外収益に為替差益を計上したこと等により増益となりました。

以上の結果、売上高は114億6千5百万円（同58.1%増）、営業利益は3億8千8百万円（同236.3%増）、経常利益は4億7千7百万円（同282.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億4千1百万円（同322.9%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第2四半期末の総資産は、前連結会計年度末に比べて17億4千5百万円減少し、203億5千万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が22億5千6百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて19億2千9百万円減少し、113億8千万円となりました。これは主に、短期借入金が14億3千4百万円、支払手形及び買掛金が5億4千万円減少したこと等によるものであります。

また、純資産については、前連結会計年度末に比べて1億8千4百万円増加し、89億7千万円となりました。これは主に、利益剰余金が1億5千9百万円増加したこと等によるものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度に比べ1千8百万円増加し、36億6千4百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、7億5千4百万円（前年同期は7億3千万円の使用）となりました。これは主に、売上債権の減少が26億3千9百万円となった一方で、たな卸資産の増加が8億4千4百万円となったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は、8億8千5百万円（前年同期は1億3千9百万円の使用）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入が12億2千万円となった一方で、定期預金の預入による支出が2億5千5百万円となったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、16億4百万円（前年同期は9億1千5百万円の獲得）となりました。これは主に、短期借入金の返済による支出が15億2千9百万円となったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月14日に「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました平成31年3月期通期の連結及び個別業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成30年11月14日）公表いたしました「平成31年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,100,540	4,166,829
受取手形及び売掛金	10,189,625	7,933,471
電子記録債権	811,828	451,039
商品及び製品	77,906	94,906
仕掛品	669,501	1,486,950
原材料及び貯蔵品	189,932	181,768
その他	748,870	1,708,321
貸倒引当金	△164,271	△116,931
流動資産合計	17,623,933	15,906,355
固定資産		
有形固定資産	3,002,159	2,929,703
無形固定資産	13,561	12,880
投資その他の資産	1,456,701	1,501,950
固定資産合計	4,472,423	4,444,535
資産合計	22,096,357	20,350,891
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,577,850	3,036,964
短期借入金	6,148,363	4,714,172
未払金	1,982,831	1,675,043
未払法人税等	181,673	174,967
製品保証引当金	101,160	118,399
工事損失引当金	5,880	454
賞与引当金	187,462	184,380
役員賞与引当金	29,566	13,799
損害賠償引当金	5,699	2,257
資産除去債務	35,299	10,808
その他	537,163	901,122
流動負債合計	12,792,952	10,832,370
固定負債		
退職給付に係る負債	79,481	94,597
役員退職慰労引当金	246,640	263,321
その他	191,300	190,322
固定負債合計	517,422	548,241
負債合計	13,310,374	11,380,612

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,236,800	2,236,800
資本剰余金	2,066,466	2,073,336
利益剰余金	4,284,493	4,443,544
自己株式	△504,467	△497,275
株主資本合計	8,083,292	8,256,405
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	156,847	141,116
為替換算調整勘定	529,623	568,572
その他の包括利益累計額合計	686,471	709,689
新株予約権	16,218	4,185
純資産合計	8,785,982	8,970,279
負債純資産合計	22,096,357	20,350,891

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	7,250,316	11,465,264
売上原価	5,768,541	9,584,605
売上総利益	1,481,774	1,880,658
販売費及び一般管理費	1,366,168	1,491,839
営業利益	115,606	388,819
営業外収益		
受取利息	10,087	4,832
受取配当金	8,477	7,914
受取家賃	10,521	11,359
為替差益	—	98,828
保険返戻金	17,217	—
その他	2,869	2,023
営業外収益合計	49,173	124,958
営業外費用		
支払利息	16,044	34,767
為替差損	22,760	—
その他	1,145	1,317
営業外費用合計	39,950	36,085
経常利益	124,828	477,692
特別利益		
固定資産売却益	—	217
新株予約権戻入益	—	8,296
特別利益合計	—	8,513
特別損失		
固定資産除却損	877	960
特別損失合計	877	960
税金等調整前四半期純利益	123,951	485,246
法人税等	43,408	144,195
四半期純利益	80,542	341,050
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△103	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	80,646	341,050

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純利益	80,542	341,050
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	106,608	△15,730
為替換算調整勘定	△5,833	38,948
その他の包括利益合計	100,774	23,217
四半期包括利益	181,317	364,268
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	181,384	364,268
非支配株主に係る四半期包括利益	△66	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	123,951	485,246
減価償却費	89,673	92,902
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4,889	△50,609
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,979	△5,785
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△18,156	△13,555
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	1,535	16,054
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	71,677	△5,425
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△13,099	15,468
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	9,528	16,681
受取利息及び受取配当金	△18,565	△12,747
保険返戻金	△17,217	—
支払利息	16,044	34,767
為替差損益 (△は益)	△13,948	24,867
固定資産売却損益 (△は益)	—	△217
固定資産除却損	877	960
新株予約権戻入益	—	△8,296
売上債権の増減額 (△は増加)	407,172	2,639,694
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△827,842	△844,287
前渡金の増減額 (△は増加)	15,683	△736,359
その他の資産の増減額 (△は増加)	△72,199	△145,869
仕入債務の増減額 (△は減少)	△818,503	△546,373
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△54,238	△38,252
前受金の増減額 (△は減少)	629,991	430,889
長期未払金の増減額 (△は減少)	—	4,050
その他の負債の増減額 (△は減少)	△159,536	△411,419
小計	△648,082	942,382
利息及び配当金の受取額	18,163	18,778
利息の支払額	△15,847	△33,901
法人税等の支払額	△82,643	△169,762
保険返戻金の受取額	17,217	—
損害賠償金の支払額	△19,309	△3,441
営業活動によるキャッシュ・フロー	△730,500	754,054

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△133,368	△30,169
有形固定資産の売却による収入	—	217
定期預金の預入による支出	△274,000	△255,400
定期預金の払戻による収入	274,500	1,220,771
敷金及び保証金の差入による支出	△25,389	△86,294
敷金及び保証金の回収による収入	18,586	36,651
保険積立金の積立による支出	△534	△534
貸付金の回収による収入	100	1,000
その他	401	△828
投資活動によるキャッシュ・フロー	△139,705	885,412
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	998,997	100,000
短期借入金の返済による支出	—	△1,529,422
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△7,632	—
リース債務の返済による支出	△3,493	△4,858
自己株式の処分による収入	60,224	10,325
自己株式の取得による支出	—	△1
配当金の支払額	△132,328	△180,865
財務活動によるキャッシュ・フロー	915,767	△1,604,821
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,160	△16,498
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	47,722	18,147
現金及び現金同等物の期首残高	4,564,818	3,646,682
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,612,540	3,664,829

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第2四半期連結会計期間において、Nomura Micro Science (Vietnam) Co., Ltdを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	日本	アジア	アメリカ	計	
売上高					
外部顧客への売上高	4,251,531	2,719,625	279,159	7,250,316	7,250,316
セグメント間の内部売上高 又は振替高	720,357	129,486	—	849,844	849,844
計	4,971,889	2,849,112	279,159	8,100,161	8,100,161
セグメント利益又は損失(△)	△77,358	128,657	64,307	115,606	115,606

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	日本	アジア	アメリカ	計	
売上高					
外部顧客への売上高	5,828,767	5,633,406	3,090	11,465,264	11,465,264
セグメント間の内部売上高 又は振替高	576,627	260,279	—	836,906	836,906
計	6,405,394	5,893,685	3,090	12,302,171	12,302,171
セグメント利益又は損失(△)	222,582	187,874	△21,637	388,819	388,819

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。